

令和3年度 北信高等学校体育連盟 総合体育大会要項

種目	期日	会場 時間	参加資格及び参加制限	試合形式と注意事項	県大会	申し込み方法と参加料
柔道	5月 15日(土) 16日(日)	ことぶきアリーナ柔道場 (千曲市更埴体育館) 15日(土) 開 場 8:30 計 量 9:10 監督会議 9:30 開 会 式 10:00 16日(日) 開 場 8:30 計 量 9:10 監督会議 9:30 競技開始 10:00	・高体連に登録済みの生徒。 ・男子団体試合 1校1チーム、監督1名、選手5～8名をエントリーする。 (最低5名のエントリーが必要) エントリー後の選手変更は認めない。 5月15日(土)の午前9時00分までに選手5名、補欠1名のオーダーを大会本部に提出する。 ・女子団体試合 1校1チーム、監督1名、選手3～5名をエントリーする。 (最低3名のエントリーが必要) エントリー後の選手変更は認めない。 5月15日(土)の午前9時00分までに選手3名、補欠1名のオーダーを大会本部に提出する。	・競技規則は、国際柔道連盟試合審判規定(2018～2020)及び令和3年度全国高体連柔道専門部申し合わせ事項による。試合時間は男女団体・個人ともすべて4分とする。団体試合における優勢勝ちの判定基準は、「技あり」または「僅差」以上とする。なお、僅差は「指導差が2」とする。チームの内容が同等の場合は、代表選手を任意に選出して代表戦を行う。個人試合及び団体試合代表戦における「優勢勝ち」の判定基準は、「技あり」または「僅差」以上とする。なお、僅差は「指導差が2」とする。同等の場合は、延長戦をゴールデンスコア方式(時間無制限)で行う。 延長戦に入った場合、従来通り「技あり」以上もしくは指導差がでた時点で勝敗を決する。 詳細は、大会当日の審判監督会議にて確認する。 ・第1日目 男女団体試合、トーナメント戦(敗者復活戦あり)。6校未満の場合はリーグ戦とする。 男子団体試合は各チーム5名による点取り試合で行う。 女子団体試合は各チーム3名による点取り試合で行う。 ・第2日目 男女個人試合、トーナメント戦。男女個人計量は第1日目・第2日目ともに9:10から9:25及び第1日目団体試合終了後に行うのでいずれかに合格すること。なお、計量時の服装は男子「上半身裸」下は「短パン」、女子「上半身Tシャツ」下は「短パン」とする。 ・柔道着の背部にゼッケンを縫い付けること。縫い付ける場所は襟から5～10cmのところ、ゼッケン上部がくるようにし、強い糸でしっかり縫い付けること。サイズは横30～35cm縦25～30cmとする。姓は上側2/3、校名は下側1/3の部分にゴシック体(または楷書)、男子は黒色、女子は濃赤字とする。 ・各校監督は、全日本柔道連盟連達「コーチの振る舞い」を確認し、これに準ずること。	団体試合 男女ともオープン参加 個人試合 男子 各級8位まで 女子 各級8位まで ただし、他地区にて定員に満たない階級が生じた場合、補充ができる地区からの参加を抽選で認める。	・認知書 男女別の用紙で申し込むこと。 「認知書入力上の注意(柔道)」をよく読んで入力すること。 ・入力した認知書(エクセルファイル)は、北信高体連事務局への送付と同時に、 柔道専門委員 長野俊英高校・山岸琢美先生へファイルを添付し、メールを送信すること。 メール送信先 n.syunei.h.s.judo@gmail.com
<p>・個人試合 各校における各階級の制限はなし。計量に合格したものとす。</p> <p>男子 60Kg級(60Kg以下) 女子 48Kg級(48Kg以下) 66Kg級(60Kgを超え66Kg以下) 52Kg級(48Kgを超え52Kg以下) 73Kg級(66Kgを超え73Kg以下) 57Kg級(52Kgを超え57Kg以下) 81Kg級(73Kgを超え81Kg以下) 63Kg級(57Kgを超え63Kg以下) 90Kg級(81Kgを超え90Kg以下) 70Kg級(63Kgを超え70Kg以下) 100Kg級(90Kgを超え100Kg以下) 78Kg級(70Kgを超え78Kg以下) 100Kg超級(100Kgを超える) 78Kg超級(78Kgを超える)</p> <p>・その他 【新入生の大会参加について】 新入生の練習および大会参加については、事故防止、安全確保について十分に配慮し考慮すること。なお、全日本柔道連盟の指針に則り、柔道経験が6か月に満たない者は北信総体への参加は不可とする。 【脳震盪について】 大会前1か月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診断を受け、出場の許可を得ること。大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。至急専門医「脳神経外科」の精査を受けること。(練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け許可を得ること。当該選手の指導者は、大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告を提出すること。 【皮膚真菌症について】 皮膚真菌症(トリコトフィン・トングランス感染症)については、発症の有無を各所属の責任において的確な治療を行う。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については迅速に医療機関において的確な治療を行う。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、原則として大会への出場を禁止する。(ただし、2週間以内の治療証明書がある場合は出場を認める。) 【新型コロナウイルス対策について】 感染拡大予防の観点から無観客にて行う。選手は入退場の際に検温と手指消毒をすること。また、直近2週間の健康観察を行い、記録表を提出することとする。内容の取扱いについては北信高体連の基準に準ずる。その他、詳細は状況に応じて専門部にて判断する。</p>						

【北信高等学校顧問各位】 ①高等学校体育連盟の諸活動に、頭髪の染色・脱色・パーマ等や、装飾のピアス・ネックレス・指輪等はそぐわないものとして、その対象生徒の大会出場を制限します。したがって、各学校におかれましては、専門部の協力を得て指導され、地域社会からも十分な評価と応援が得られる大会となりますよう、ご協力をお願いします。
②28年度より北信高体連主催大会において棄権する場合は棄権届が必要となります。詳しくは各校評議員(専門委員長)にお問い合わせください